



仙北市「あきた角館 西宮家」がホテル「和のゐ 角館」に生まれ変わります

- 秋田県仙北市、一般社団法人田沢湖・角館観光協会及び東日本旅客鉄道株式会社秋田支社は、2019年5月に「仙北市における『観光まちづくり』に関する連携協定」を締結し、仙北市における観光需要の更なる創出を推進しております。
- 同連携協定の取組みとして、2020年3月には、東日本旅客鉄道株式会社秋田支社が、秋田県仙北市が所有する西宮家武士蔵・西宮家ガッコ蔵と、仙北市角館伝統的建造物群保存地区に近接する反物蔵からなる、ホテル「和のゐ 角館」を開業いたしました。
- この度、東日本旅客鉄道株式会社秋田支社が、秋田県仙北市が所有する「あきた角館 西宮家」全体を借り受け、改装のうえ、ホテル「和のゐ 角館」を拡張することといたしました。
- ホテル「和のゐ 角館」のリニューアルにより、秋田県仙北市、一般社団法人田沢湖・角館観光協会及び東日本旅客鉄道株式会社秋田支社では、地域資源による流動創出やインバウンドの誘客強化に、より一層取り組んでまいります。

1 事業概要

施設名称：「和のゐ 角館」

所在地：秋田県仙北市角館町田町上丁 11-1 他

施設概要：客室全 6 室（既存 3 室・新規 3 室）、レストラン、フロント等

事業主体：東日本旅客鉄道株式会社

運営会社：秋田ステーションビル株式会社（JR 東日本グループ）

開業時期：2026 年春



2 施設概要

(1) 新規客室

○ **西宮家 文庫蔵** (現 文庫蔵)

特徴：明治 41 年頃に建設され、西宮家で最も古い蔵であるとされる文庫蔵。西宮家の貴重な文献を保管してきた蔵の歴史に思いをはせていただけるよう、本棚や書物をイメージした客室にいたします。

面積：約 120 m² (2 階建)

定員：4 名



※現在の文庫蔵

○ **西宮家 まゆ蔵** (現 北蔵)

特徴：かつて養蚕が行われていたと伝わる蔵にちなみ、繭や糸、手仕事などをテーマにした客室にいたします。蔵に包まれるひとときをお楽しみください。

面積：約 80 m² (平屋)

定員：4 名



※現在の北蔵

○ **西宮家 桜人の間** (現 母屋離れ座敷)

特徴：現在は母屋の離れ座敷として、一般には公開していないエリアを客室に改装いたします。

5 つの蔵を有する西宮家、かつてその西宮家に暮らした御当主が、部屋の縁側から庭の桜を眺め、角館の四季を愛でたように、四季折々の表情を見せる庭と、こだわりの内装でお客さまをお迎えいたします。

面積：約 90 m² (平屋)

定員：4 名



※現在の母屋

(2) 新規レストラン

○ **米蔵** (現 米蔵)

特徴：米蔵は、明治 43 年頃に建設された西宮家で最も大きな蔵です。地元の食材や地酒を、ダイナミックな蔵の空間とともに楽しんでいただけるよう、ホテル内にレストランを新設することとしました。「和のあ 角館」の宿泊客だけでなく、一般のお客さまにもご予約いただけるレストランとする予定です。

面積：約 180 m² (平屋)

客席数：38 席 (予定)



※現在の米蔵

参考 「仙北市における『観光まちづくり』に関する連携協定」によるこれまでの取り組み

秋田県仙北市、一般社団法人田沢湖・角館観光協会及び東日本旅客鉄道株式会社秋田支社は、仙北市における観光需要の更なる創出を推進するため「仙北市における『観光まちづくり』に関する連携協定」を2019年5月9日に締結し、三者が有する観光資源を有効活用し、魅力ある仙北市の「まちづくり」における新たな取り組みを進めてきました。

■主な取り組み

・2019年5月25日「五感楽農」農園開き

2019年5月25日・7月27日・9月7日 農体験ツアー

市内の伝統野菜の収穫や角館地区に専用農園などの開設を通して、農家民宿泊を軸とした観光ツアーの造成を行い首都圏からの誘客促進と地域住民との交流を通じた移住を促進

・2020年3月16日「和のゐ 角館」開業

角館エリアの観光需要創出を目指した滞在型観光の拡大

・2020年6月13日～7月26日「大人の休日倶楽部会員サービス」

「大人の休日倶楽部パス」を提示いただいたお客さまへの“ちょっぴりサービス”を、大人の休日倶楽部会員や「和のゐ 角館」等の宿泊者へ拡大

・2020年9月19日・26日 田町武家屋敷通り「夜の角館タイムスリップ」

仙北市における滞在型観光の拡大を目的に、2021年の東北デスティネーションキャンペーンを見据えた夜の観光コンテンツを開発

・2022年1月15日「温泉と入浴講座」開催

全国的な知名度と人気を誇る乳頭温泉郷“鶴の湯温泉”の魅力と、株式会社バスクリン 薬学博士による毎日の効果的な入浴方法を紹介し温泉の魅力を通じた観光PRを実施

・2022年5月17日 角館オンデマンド交通「よぶのる角館」運行開始

観光でお越しのお客さまや地域にお住まいの皆さまに、便利なモビリティサービスを提供

・2024年2月14日「角館の火振りかまくら特別体験」

秋田県大型観光キャンペーンのトライアル施策として、お客さま専用の法被や手ぬぐいを使用した火振りかまくら体験、歴史案内人による火振りかまくらの歴史語りなどを実施

- ・**2024年5月23日「ぶらり角館！秋田の夏酒試飲ウォーク」と「秋田の夏酒を愉しむ夕べ」**
角館駅前から武家屋敷を散策しながら秋田の夏酒やお茶を楽しめる企画と、料亭「登喜和」にて秋田の夏酒と地元の食材をペアリングした料理を提供
- ・**2024年12月7日「ぶらり角館！おちよこで試飲ウォーク」と「秋田の冬酒を愉しむ夕べ」**
2024年5月の夏酒企画の第2弾として、冬酒のイベントを実施
- ・**2025年2月14日「角館の火振りかまくら特別体験」**
秋田県冬の大型観光キャンペーン「誰と行く？冬の秋田」開催に合わせて実施

参考 西宮家について

【歴史】

角館町には2つの武家屋敷があり、南側に位置する田町武家屋敷通りは、江戸時代初期の元和6年（1620年）に角館を治めていた佐竹一族の芦名氏による町造りの際、佐竹氏の直臣である今宮氏とその武士団が移住して形成されました。

今宮武士団の中でも重んじられていた西宮家は、地主としても明治後期から大正時代にかけて最も繁栄し、明治後期の当主西宮藤剛氏は、角館町の初代町長就任から度々町長を歴任し、町の歴史を振り返っても重要な人物として、町政に貢献するなど、各方面でリーダーシップを発揮しました。

【特徴】

西宮家は角館町田町上丁に位置し、田町武家屋敷の中心施設の文化財として保存・活用されており、明治後期から大正時代にかけての繁栄がしのばれる母屋と文庫蔵・前蔵（現 武士蔵）・ガッコ蔵・北蔵・米蔵の5棟は趣があり、大正ロマンの雰囲気漂っています。

現在はレストランギャラリー、宿泊施設として活用され、伝統と現代が調和した空間となっています。表通りに面して母屋正面に冠木門を構え、その左右に黒板塀が続いています。敷地内には大小の石を配置した庭があり、国指定天然記念物のシダレザクラをはじめ多くの樹木が植栽され、母屋背面には石組みで囲った池と樹木による庭園が造られています。

【文化的価値】

西宮家は400年以上の歴史を持つ武家屋敷であり、格式ある建築や蔵、庭園、地域社会への貢献などを通じて、角館の歴史・文化・景観を今に伝える貴重な文化財です。

秋田県仙北市では歴史的・文化的価値の高い施設として、国の登録有形文化財をめざすことも視野に入れており、歴史的建造物を通して地域の魅力を発信し、文化的価値が体感できる体験型宿泊施設にリノベーションすることで、西宮家を後世に残し、通過型観光から滞在型観光への転換が図られると考えています。

今後は文化財としての価値を残しつつ、伝統的な建築美と現代的な快適さを融合することで、日本の文化や暮らしを体験できるインバウンドニーズに即した高付加価値化が図られ、外町活性化の拠点として活用が期待されます。

参考 「和のゐ 角館」について

1 コンセプト

(1) ブランドコンセプト

**古き良き日本の文化と触れ合いながら、日常から解き放たれ、
真の豊かさを体感するホテル。**

歴史が息づく町並みや暮らしを未来へ繋げ、地域の新たな価値を創出するために、築 100 年を超える日本家屋をはじめ、歴史ある建築物を再生し、新たな息吹を注ぎ込んだ滞在型のホテルです。

先人の知恵が息づく伝統技法、自然の素材、様式美を極めた意匠など、受け継がれてきた日本の文化を守りながら、心地よい居住性と機能性も備えます。

ただ泊まるのではなく、その町の歴史、文化、暮らしをさまざまに体験でき、すべてが特別で忘れられないひとときに。

それは、日常の喧騒から解き放たれ、古き良き日本にタイムスリップしたかのような感覚。

訪れるすべての人に、時代を超越する真の豊かさをもたらします。

(2) 施設名称

「和のゐ 角館」

「歴史ある日本の文化・暮らしを体験する宿」を意味し、暮らしを表す「居」を古くから使われていた仮名遣いの「ゐ」を用いることで、歴史性を表現しています。



和のゐ

角館

2 開業日

2020年3月16日

3 既存客室

○ 西宮家 武士蔵^{ぶしくら}

特徴：大正8年頃に建設された蔵を、武士の文化や暮らしなど往時の営みを感じることができる客室としました。西宮家の先祖は高名な武士であったことに由来し、実際に触れられる武士の道具も設え、時代を越境する体験をお楽しみいただけます。

面積：約 150 m² (2 階建)

定員：6 名



○ 西宮家 ガッコ蔵^{かくくら}

特徴：大正8年頃に建設され、ガッコ（漬物）を貯蔵するために使用されていた蔵の歴史を大切にして、ガッコにまつわる道具等を空間デザインのアイテムとして展開しています。浴槽も漬物樽をモチーフにしたもので、春には浴室にいながら庭の桜を鑑賞することができます。

面積：約 101 m² (2 階建)

定員：4 名



○ 反物蔵^{たんものくら}

特徴：西宮家から少し離れた、武家屋敷通りの手前に位置しています。江戸時代末期に建てられ、反物屋の蔵であったと伝わる歴史に着目し、反物やそれに関わる道具、着物をインテリアとしてディスプレイしました。

面積：約 186 m² (2 階建)

定員：6 名

所在：秋田県仙北市角館町横町 15



4 その他

「和のあ 角館」は、秋田県で唯一、ミシュランガイドのホテルセレクションに掲載されています。
(2025年6月9日現在)